

## 【まほろば祭合唱コンクールを終えて…】

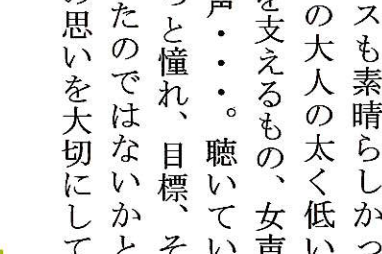
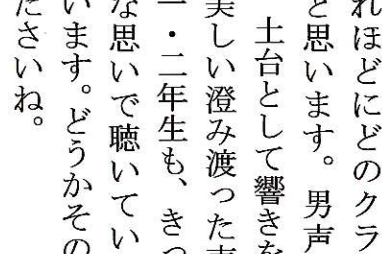
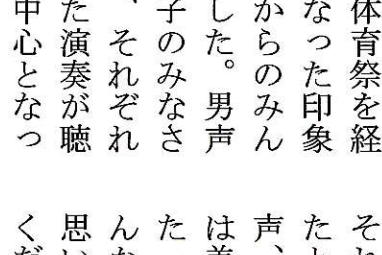
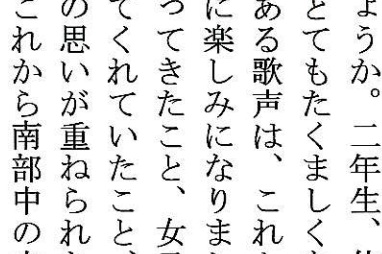
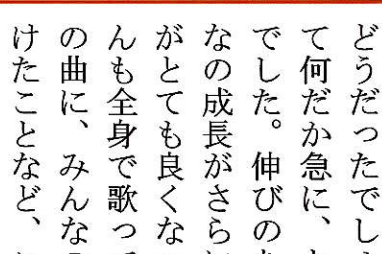
### みんなの思いは一つになりましたか！

令和六年度まほろば祭合唱コンクールの部が終わりました。どのクラスも本当に一生懸命に歌い、素晴らしい合唱が文化会館のホールいっぱい響き渡りました。一年生、可愛らしい、しかし大人の声に近づく過程の中で一杯の響き、初めて文化会館のステージに立ち、スポットを浴びながら歌った印象はどうだったでしょうか。二年生、体育祭を経て何だか急に、とてもたくましくなった印象でした。伸びのある歌声は、これからのみんなの成長がさらに楽しみになりました。男声がとても良くなってきたこと、女子のみなさんも全身で歌ってくれていたこと、それぞれの曲に、みんなの思いが重ねられた演奏が聴けたことなど、これから南部中の中心となっ

ていくのに相応しい合唱であったと思います。そして三年生。さすがでした。体育祭を終えてから本当に短い時間の中で、どのクラスも難しい曲をよくここまで仕上げてくださいました。聴いている人たちもおそらく、三年生の素晴らしい響きに感動したのではないのでしょうか。これこそが南中の伝統。厳しい条件の中でも、見事に引き継いでくれました。表現力、ハーモニーの美しさ、構成、どれをとってもさすが三年生でした。選曲によって表現の違いはありますが、どのクラスにも最優秀賞をあげたいと思いました。講師の田嶋先生も、最後の最後まで迷っていらっしやいました。

それほどにどのクラスも素晴らしかったと思います。男声の大人の太く低い声、土台として響きを支えるもの、女声は美しい澄み渡った声……。聴いていた一・二年生も、きつと憧れ、目標、そんな思いで聴いていたのではないかと思います。どうかその思いを大切にしてくださいね。

もう一つ忘れてはならないもの。特設合唱団のみなさんの歌声です。限られた時間、とても短い練習時間の中で、あれだけの演奏を堂々と発表できる。それにはびっくりしました。合唱が好きなたちの集まりだからかも知れませんが、響きの美しさだけでなく、一人一人の歌う表情からも、思い切り楽しんで歌っていることが伝わってきました。まさに『心までnetwork!』、みんなの思いを一つにしてうたっていたからこそ、最高の歌声を創り上げることができたのだと思います。気持ちが一つになるお手本のような合唱でした。



今までクラスのみんなで創り上げてきたこと。その思いは絶対に忘れないでください。そして、これからも南部中の伝統がさらにみなさんの手で発展していくことを願っています。

